

# *Professional Group of Interfacial Nano Electrochemistry*

界面ナノ電子化学研究会 貢献賞 2024

ナノレベルの固体/液体界面で  
電子化学反応制御を目指して

界面ナノ電子化学研究会  
委員長  
岩元 勇人

## 貢献賞授与について

---

### 界面ナノ電子化学研究会の発展に顕著な貢献をなしたものに授与し 功績を称える

- **大阪大学 故青木秀充先生**が2012年受賞  
業界関係者に呼びかけ、半導体洗浄プロセスをより学術的なアプローチとすべく本研究会の礎となる新領域グループをつくれ、現在の界面ナノ電子化学研究会立ち上げ、この分野の地位向上に貢献された
- **元東芝（現SCREEN） 富田寛様、  
ソニー 岩元勇人様** が2016年受賞  
青木先生のお考えに賛同され立ち上げ当初より当研究会をけん引し、後に委員長を務められ当研究会の更なる発展に貢献された

## 約8年半ぶりに受賞対象者

- 「応用物理学会界面ナノ電子化学研究会貢献賞規程」に則り本年岩元委員長の下、選考委員会を立ち上げられ、本日ここに表彰を行います。



SCREENセミコンダクターソリューションズ  
荒木 浩之様



静岡大学  
真田 俊之先生

# 界面ナノ電子化学研究会の軌跡と荒木様、真田先生の貢献

応物学術講演会  
秋  
春  
体制  
委員長



荒木様	2006年の第1回活動から中心となり活動を支えていただきました。その後ほぼ全ての活動（上図の学会時の活動はもちろん、暗黙知の共鳴場としてワーキンググループ活動、ポスター発表展、フォーラムなども）についてけん引役を担っていただき、研究会の発展に大きく寄与されました。
真田先生	企業メンバー中心の当研究会の委員長を青木先生の跡を引継ぎ9年間3期にわたり務めながら、献身的な活動の成果により企業所属中心のメンバーから徐々に大学の先生方も参加いただけるようになり、更なる発展に寄与されました。委員長任期後も引き続き運営委員として中心的な役割。

# 感謝



**300mmウェーハで作成した貢献賞を感謝をこめて研究会よりお二人にお贈りいたします。  
今後さらなるご活躍を祈念し、引き続き研究会活動も支えていただけますようお願いいたします。**

※ウェーハ寄贈：ソニーセミコンダクタソリューションズ様、ありがとうございました

※荒木様は昨年秋の秋季学術講演会招待講演の際の熊本での写真

※真田先生は2018年秋の第2回INEフォーラム（浜名湖）実行委員スピーチでの写真